

●目次●

第Ⅰ部 歴史を歩く

はじめに	.....	服部 英雄	14
竹崎季長が絵解きする『蒙古襲来絵詞』——矢羽と風から——	.....	服部 英雄	16
太祖神社所蔵の大陸系石製香炉	.....	江上 智恵	47
壇ノ浦合戦における佐伯景弘	.....	光成 準治	56
文安五年相良家政変の実像	.....	鶴嶋 俊彦	65
史料学の展望——古文書・古記録・古典籍・墨跡——	.....	吉原 弘道	75
中世御霊祭における芸能	.....	渡邊 太祐	77
漆・柿洪と襖障子・明障子	.....	渡邊 太祐	88
九大図書館から発見された『背振山堺図』	.....	服部 英雄	93
正保期の城目録をめぐる	.....	西田 博	119
地名研究と郡村誌研究	.....	東 昇	128
しこ名相聞	.....	石橋 道秀	131

出雲船団の軌跡を追って ..... 岩成 俊策 ..... 137

筑後国広河荘故地を歩く——坂東寺周辺の景観を中心に—— ..... 貴田 潔 ..... 139

ふたつの太鼓 ..... 中村 久子 ..... 149

食肉産業の現場を歩く ..... 李 由紀 ..... 158

聞書集 ..... 服部 英雄 ..... 167

1 佐々木哲哉先生から 2 差別を乗り越える 3 にかわづくり 4 「とろす」メモ 5 船住ふなすまいの家族

6 小泉八雲が訪ねた芸能村 史料 Kokoro Appendix THREE POPULAR BALLADS

ジヨアン・ロドリゲスの日本語敬語観——服部先生との出会いとポルトガル語勉強会—— 青木 志穂子 ..... 193

## 第Ⅱ部 時代を歩く

### 《名古屋時代 一九四九—一九六八》

瀬戸の島から ..... 村上 みちよ ..... 198

教師冥利 ..... 浅井 溢夫 ..... 199

服部英雄先生の退任を祝して ..... 大磯 ユタカ ..... 201

初志貫いた男 ..... 金森 昭夫 ..... 202

城址探訪少年服部英雄さんとの出会い ..... 坪井 英夫 ..... 204

《東京大学時代 一九六八—一九七八》

美しい日本のアルケーを求めて	根井 豊	206
学生時代と今の時代	鈴木 元衛	208
四十年の交流から——服部英雄氏の思い出——	神田 千里	213
ひとつ上の先輩	安田 次郎	215
無茶？ 強引？	藤原 良章	216
日記より抄出したる服部英雄助手の動静	坂上 康俊	218
服部英雄さんと青森	小口 雅史	221
石井先生から母への手紙	石井 進	223
服部先生のこと、石井先生のこと	金谷 匡人	225

《乗鞍寮と山の仲間》

服部英雄の歴史を歩く…敬愛すべき悪友、服部英雄という人	遠山 稿二郎	228
パン屋の親父	荒川 一郎	229
服部さんへ	鮫島 信行	230
折れた足で一日半も歩いた	丸山 和夫	232

《追分寮生活》

服部君と東京大学追分寮で暮らしたころ	石川 雅明	238
追分寮と服部先生の思い出	榎本 克哉	243
風の服部先生	小菅 昭彦	245
服部先生の瞳	宮本 乙女	246

《文化庁時代から文化財保護と社会の現場へ 一九七八―現在》

服部史学をどうみるか	狩野 久	250
文化財調査官 服部英雄さんのこと	和田 勝彦	252
不出来な後輩の思い出話	増渕 徹	255
服部英雄さんとの懐かしい思い出	佐久間 豊	258
三・一一東日本大震災を体験して	桑原 滋郎	261
服部氏について	磯村 幸男	265
服部さんと勝山館跡整備事業	松崎 水穂	267
服部文化財調査官との出会い	白取 幹人	270
服部学との出会い	山名 隆弘	271
伊達からの手紙	菊池 利雄	274
群馬県と服部英雄さん	森田 秀策	275

真壁城跡の国史跡指定を振り返って	加藤 順一	278
私が知っている文化庁時代の服部さん	柿沼 幹夫	280
越中五箇山と服部英雄先生	松島 吉信	283
服部英雄先生の御退官に寄せる	桜井 松夫	285
出会いの時々	山下 晃	287
興国寺城跡・長浜城跡の保存と服部先生	鈴木 裕篤	289
史跡赤木城との関わり	久保 幸一	294
日根荘と狭山池の調査と保存について	堀江 門也	296
服部英雄先生のこと	倉本 俊明	299
服部英雄さんのこと	伊崎 俊秋	301
服部英雄先生をめぐる二、三の追想	宮武 正登	303
服部先生と小城	古庄 秀樹	306
服部さんと歩んだ三十五年	海老澤 衷	307
服部英雄先生の事件簿	吉永 浩二	309
剣の尾根の麓から	平尾 胖	311
服部ひでちゃん・平尾ばんちゃん・おさむちゃん	佐伯 治	312
韓国倭城の調査の思いで	上田 耕	314

千年の時を刻む田染荘	永松博文	316
感謝、感謝。	藤重深雪	317
郵便馬車の馭者だったころ	小倉賢堂	319
現代とつながる	岡恵里	321
服部史学の醍醐味	東靖晋	322
「如何様替たる仁」——通説への疑問	池田和正	324
服部先生、お疲れ様でした	中村俊介	326
秀村選三氏より聞く	服部英雄	328
《九州大学時代 一九九四——現在》		
服部さんとの花見	高田和夫	334
服部さんへお願い三つ	福留久大	336
さようなら六本松	野林正路	339
学者として、大学院の長として——服部先生の思い出	松井康浩	340
服部先生の思い出	鏑木政彦	341
服部英雄先生と九州大学大学図書館	折田悦郎	343
服部英雄教授ご退官に寄せて	空閑龍二	345
歩き、み、ふれる歴史学	宮西晋	350



謝 礼	略 年 譜	業 績 目 録
.....	.....	.....
服 部 英 雄	服 部 英 雄	服 部 英 雄
.....	.....	.....
393	391	381